

# Local Area News

## 設立40周年記念式典開催

桐生刺繍商工業(協)

桐生刺繍商工業協同組合(岩崎朝嗣理事長、組合員47人)では、11月2日、桐生市・美喜仁館において、組合関係者や来賓等60余名の出席者を得て、設立40周年記念祝賀会を開催した。

挨拶に立った岩崎理事長は、40周年を迎えられたことに対して、出席者並びに組合関係者への感謝の意を述べた。

次いで、亀山豊文桐生市長、大澤正明群馬県知事、相沢崇文桐生市議会議長、柿沼洋一桐生商工会議所会頭、後藤隆造桐生市繊維振

興協会会長の祝辞が披露された。

続いて、群馬県議会議員腰塚誠氏の音頭で乾杯となり、祝宴が催された。祝宴では、組合の歴史をまとめたスライドショーが上映され、懐かしい写真や関係者の姿が映し出されるたびに、会場から大きな歓声が上がっていた。

また、青年部員が登壇して自己紹介を行い、出席者から次代の組合を担う若手経営者に大きな拍手が送られた。



登壇した青年部のメンバー

出席者の懇親が深められた祝宴は、祝メの手拍子によってお開きとなった。

## 交通・事故防止総決起大会開催

赤帽群馬県軽自動車運送(協)

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合(赤間美代子理事長、組合員149人)では、11月16日、前橋商工会議所会館において、交通・労働事故防止総決起大会を開催した。

当日は、5年間無事故・無違反を達成した組合員並びに事務局職員7名に対して、赤間理事長より感謝状が贈呈されるとともに、前橋警察署警視高木宏氏より交通安全講習が行われた。

次いで、全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会事務局事務局長兼企画課長嵯峨徹也氏が、赤帽組合における既存事業の高付加価値化について講演を行った。

講演では、クレームゼロを目指して、業務マナーに対する最大限の配慮を怠らないことが、組合や組織全体の価値を高めるとともに、赤帽組合員の受注拡大に不可欠であると強調。

反面、たった一人の不適切な行為が、業界全体の信頼を失墜する危険性が非常に大きい点に注意すべ

きであると指摘した。その実例として、インターネットの動画サイトを紹介しながら、本人の知らないうちに、不適切な行為の映像がアップされているケースが非常に多くなっている点に注意を促した。

講演する嵯峨氏(右)と会場風景



また、引越し業務に関するアンケート調査結果を引用し、コストパフォーマンス部門で、赤帽組合が全国第1位になっている点を紹介した上で、こうした優位性に加え、本組合では、特定信書便許可を取得している強みを活かすことで、組合事業の更なる拡大・発展が期待できる旨強調した。

# LAW

## 館林紬求評会開催

### 館林織物連合(協)

館林織物連合協同組合(山岸清理事長、組合員20人)では、11月29日、館林市・三の丸芸術ホールにて、「館林紬求評会」を開催した。求評会は多くの人に館林紬を知ってもらおうと毎年秋に開催している。会場には、色鮮やかな反物やエプロン、ネクタイなどの二次製品などが展示され、来場者は手に取って、その感触を確かめていた。

また今回も、大変好評な館林紬の端布を使ったネックレスやフクロウの置物、メモ帳カバーづくり



作品づくりに熱中する来場者

を体験できるコーナーが設けられ、来場者が熱心に作業をする姿がみられるなど、会場内は、大変な賑わいであった。



## 森林計画と

### 林業作業道について学ぶ

#### 群馬県素材生産流通(協)

群馬県素材生産流通協同組合(橋爪洋介理事長、組合員112人)では、11月21日、藤岡市・組合事務所において、「森林計画の意義と林業作業道について」をテーマに講習会を開催した。講師は、京都府の日吉町森林組合非常勤理事の湯浅勲氏。

湯浅氏はまず、路網の意味について「効率的な林業経営を行うために森林内に開設する道の総称」であると再確認し、その区分である林道、林業専用道、森林作業道の定義を説明した。

次いで、路網の計画・設計時に注意すべき事項として、①地域森林のランドデザインとの適合



湯浅 勲氏

性、②そのルートと規格で目的を果たせるかどうか、③木が年々大きくなること、④土場の配置と考え方、⑤自然の理に反していないか、といったポイントを挙げて詳細な解説を行った。

昼食休憩を挟んだ後、日吉町森林組合の取り組みと自身がその経験から得た教訓等を紹介。提案型施策に取り組みようになった背景や、林業用の機械に関する使用感等幅広く解説した。

質疑応答では、路網の施行方法や森林経営計画等に関する一歩踏み込んだ質問が相次ぐなど、活発な情報交換が行われた。



講習会の模様